

MEDOCで健診を受ける方へ

---

オプション検査のご案内

# オプション検査一覧

検査項目	検査内容	料金(税込)
頭部CT検査	腫瘍・出血・梗塞などがわかります。造影剤は使用しません。	22,000円
胸部CT検査	胸部X線撮影では見えにくい小さな病変を見つけます。肺がん・肺炎・肺気腫などの診断に有用です。喫煙歴のある方にお勧めします。喫煙指数(プリンクマン指数)=1日のタバコの本数×喫煙年数が400を超えたら(女性はそれより低い値)肺がんリスクが上がるといわれています。	22,000円
上腹部CT検査	肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓を調べます。ガスや脂肪のために超音波では見えにくい深部臓器の抽出が可能です。造影剤は使用しません。	22,000円
内臓脂肪CT検査	内臓脂肪の量(面積)がわかります。過剰な蓄積は生活習慣病を招き、動脈硬化をすすめます。	4,400円
腹部超音波検査	肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓を調べます。腫瘍・のう胞・結石などの有無や、腹部大動脈の石灰化(動脈硬化所見)なども観察します。脂肪肝にも有用です。脂肪肝には、肝硬変や肝がんに行進するタイプもあります。脂質が高い、血糖が高い、肝機能(AST・ALT・γ-GT)の値が高い方にお勧めします。	6,050円
頸動脈超音波検査	頸動脈の血管壁の厚さや狭窄の有無を調べることで動脈硬化の程度がわかります。高血圧・脂質異常症・糖尿病・喫煙される方にお勧めします。	5,500円
眼底検査	眼球の一番奥にある網膜の状態をみる検査です。①高血圧や動脈硬化の程度②糖尿病による血管病変の有無③網膜の病気の有無を調べます。	1,650円
骨密度検査	骨密度が低いと骨粗しょう症となり、骨折しやすくなります。特に、閉経前後の女性は、ホルモンの変化により骨密度が急に低下する傾向があるため、検査をお受けになることをお勧めします。かかとでの超音波測定です。 ※X線(精密検査で用いられる検査)に比べ低値になる傾向があります。	2,200円
甲状腺検査	甲状腺から分泌されるホルモン(FT3・FT4)と脳下垂体から分泌されるホルモン(TSH)から甲状腺の状態を調べます。	 4,950円
肝炎検査	B型肝炎・C型肝炎は、肝硬変や肝がんを引き起こす恐れがあります。調べたことのない方にお勧めします。 ①HBs抗原・B型肝炎に感染していると陽性になります。 ②HBs抗体・B型肝炎に過去に感染した方、またB型肝炎ワクチンを接種した方が陽性となります。 ③HCV抗体・C型肝炎に過去、または現在感染していると陽性になります。	 ①1,100円  ②1,100円  ③1,650円
免疫抗体検査	おたふくかぜ(ムンプス)・はしか(麻疹)・風疹に罹患したことがない方、予防接種をしていない方、妊娠を希望している方とご家族にお勧めします。	 各1種 3,300円 3種セット 8,800円
アレルギー検査	症状から疑われるアレルギー疾患を推測する検査です。(16項目) 鼻炎・喘息、成人アトピー、食物アレルギーからお選びください。 View39(多目的同時検査):花粉症・鼻炎・喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギーの原因となる代表的なアレルゲンを一度に調べる検査です。(39項目・・・食物系20項目+花粉8項目+喘息・鼻炎・皮膚系11項目)	 各1種 11,000円  18,700円
腫瘍マーカー検査	がんの発生に伴い血液中に増える特有な物質を調べます。炎症などの原因でも反応がでるので、数値が高くても、がんが存在するとは限りません。画像診断などと併用することで精度が上がります。 消化器セット(AFP・CEA・CA19-9)・・・肝臓・胆のう・膵臓・大腸・胃 肺セット(CYFRA・SLX・SCC・ProGrp) 女性セット(CA15-3・CEA・CA125)・・・子宮・卵巣・乳房 男性(PSA)・・・前立腺	 各1種 8,800円 男性(PSA) 3,300円

※検査内容を追加・変更をされる場合は、ご受診日の1営業日前までにご連絡ください。

検査項目	検査内容	料金(税込)
ピロリ菌検査	胃潰瘍・胃がんなどのリスクとなるピロリ菌の有無を調べます。胃部X線・胃内視鏡検査と併用すると診断の精度が上がります。便中抗原検査の方が精度が高いといわれています。(血液検査で陰性でも便中抗原検査では陽性となることがあるとの報告があります) ・除菌治療後の方は、血液検査で陽性や陰性高値となることが予想されるので、便中抗原検査をお受けください。 ・過去に胃内視鏡検査で萎縮性胃炎を指摘された方で、血液検査が陰性だった場合は、念のため、便中抗原検査をお勧めします。	抗体検査 採血 1,100円
		抗原検査 採便 2,200円
ペプシノゲン検査	胃で分泌されるペプシノゲンを測定し、胃粘膜の萎縮の程度を調べます。萎縮が強いと胃がんになるリスクが高くなります。	採血 2,200円
胃部X線検査	造影剤(バリウム)を飲み、上部消化管(食道・胃・十二指腸)の形の変化や異常の有無を調べる検査です。胃壁などのひだや隆起、潰瘍、ポリープの有無などを調べます。検査中は、検査台を動かしたり、体位を変えたりしながら、様々な方向からX線撮影をします。	11,000円
胃内視鏡検査	口から直径1cmほどの管(内視鏡)を挿入して、上部消化管(食道・胃・十二指腸)の病変を直接観察する検査です。検査を行う前にのどに局所麻酔をおこないます。 ※鎮静剤は、使用しません。 ※胃部X線検査を胃内視鏡検査に変更の場合は、+7,700円となります。	18,700円

## 以下の検査は単独でのお申込みが可能です。

※健保の補助は受けられません

料金(税込)

MCI(軽度認知障害)スクリーニング検査プラス 採血	認知症(日本人に多いアルツハイマー型認知症)の前段階である軽度認知障害(MCI)のリスクを判定します。40歳以上の方にお勧めします。以下の方は、検査をお受けになることができません。 ●すでに認知症を発症している方 ●腎障害、免疫疾患、外傷や風邪などの炎症がある方 ●極端なダイエットなどで栄養状態がよくない方 結果報告は約4週間後となります。認知症予防の小冊子もご提供いたします。	19,800円
腸内フローラ(腸内細菌叢)検査 採便	ヒトの腸管内では、多種・多様な細菌(腸内細菌)が絶えず増殖を続けています。腸内に住みついている細菌の種類・バランスから、太りやすさや大腸がんのリスクを調べます。 ●MEDOCで検査キットをお渡しします。 ●お客様から検査機関【株式会社サイキンソー】へ検査キットを郵送してください。(キットの消費期限をご確認ください) 結果報告は約4～6週間後となります。検査結果ガイド等もご提供いたします。	19,800円
子宮頸部細胞診自己採取検査	子宮頸がんは年間1万人程度の女性に発見されています。早期発見で子宮頸がんは防げます。医師による検査が恥ずかしいという方、お忙しい方にお勧めする、ご自宅で簡単にできる検査です。精度は医師採取法と同等です。 ●MEDOCで検査キットをお渡しします。 ●お客様から検査機関【株式会社アイ・ラボ】へ検査キットを郵送してください。(キットの消費期限をご確認ください) 結果報告は約1週間後、検査機関【株式会社アイ・ラボ】からお客様に届きます。	3,850円

女性の方へ 裏面もご覧ください。

## 🌸 乳がん検診

乳がんは、20代から発生を認め、40代から70代で最も多くなります。また、罹患数は増え続けています。マンモグラフィと乳房超音波検査にはそれぞれ長所と短所があります。乳房のタイプや所見によって、検査をしていくことが重要です。

### マンモグラフィ

マンモグラフィは、乳がんの死亡率を減少させることが科学的に認められている検査であり、40歳以上の方は2年に1回受けることが推奨されています。乳房を片方ずつ圧迫し、平らにしX線で撮影します。圧迫する際、痛みを伴うことがあります。しこりになる前の小さな石灰化や乳腺組織の変化がわかります。

### 乳房超音波検査

マンモグラフィでかくれてしまう小さな病変や、しこりの性質、腫瘍やのう胞の有無、乳管の変化がわかります。乳腺が発達している20代から30代の方にお勧めします。40歳をすぎたら、一度は、マンモグラフィに超音波検査を併用されることをお勧めします。

- ◎両者を併用することで診断の精度が上がります。
- ◎前回の検診で所見を指摘されたことがあれば、同じ検査方法をお勧めします。
- ◎高濃度乳腺・不均一高濃度乳腺を指摘された方は、乳房超音波検査を併用されると精度が高くなります。
- ◎極めて高濃度乳腺を指摘された方は、乳房超音波検査、もしくは両者併用をお勧めします。

料金(税込)

マンモグラフィ(1方向・50歳以上)と乳房超音波検査のセット	12,100円
マンモグラフィ(2方向・50歳未満)と乳房超音波検査のセット	13,200円
マンモグラフィ(1方向・50歳以上)	6,600円
マンモグラフィ(2方向・50歳未満)	7,700円
乳房超音波検査	6,600円

※【視触診検査について】2016年に厚生労働省からの通達ではその有効性が不明として視触診を乳がん検診の推奨から外しています。ご自身での視触診でのチェックは必要ですが、医療機関では、画像所見が診断の上不可欠です。MEDOCのオプションとしてのお取り扱いはございません。

## 🌸 子宮がん検診 ※子宮体がん検査は行っておりません。

子宮頸がん(子宮の入口にできるがん)は、20代から30代で好発し、30代後半から40代でピークとなります。進行がんは、60代に多い傾向があります。子宮頸がんの95%以上は、HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染後数年から数十年を経て発症するといわれています。少なくとも2年に一度は子宮頸部細胞診を受け、異常な細胞の有無を調べることは、子宮頸がんの予防と早期発見のために有用です。

料金(税込)

子宮頸部細胞診+子宮内診  
(子宮頸部の粘膜細胞を採取し、医師の手で子宮の形状などを触診します。)

4,950円

HPV検査  
(子宮頸がん高リスク型HPVの14項目を調べます。)子宮頸部細胞診とHPV検査をセットでお申込みください。

4,400円

※検査内容を追加・変更をされる場合は、ご受診日の1営業日前までにご連絡ください。